

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校武蔵野 ファッションカレッジ	昭和51年10月1日	片桐 芳子	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人後藤学園	昭和25年9月22日	後藤 人基	〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117				
目的	ファッションの専門的知識と技術そして、変遷するファッション業界において順応出来る幅広い視野と美意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献出来る人材育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	服飾専門課程	アパレル プロフェッショナル科	平成21年文部科学 省 告示第21号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860	360	0	2010	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	28人	8人	15人	23人			
学期制度	■前学期:4月1日より9月30日まで ■後学期:10月1日より翌年3月31日まで		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席評価・受講姿勢・試験・提出課題等に基づき60点以上取得で単位認定。100～80点をA、79～70点をB、69～60点をCと評価し、59点以下をD(不合格)と評価。			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月25日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月25日～3月31日		卒業・進級条件	学則に定める所定の修業年限以上在学し、規定科目の時間数・単位数の取得、学費等の納入を怠っていない者			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者との連携、電話連絡、家庭訪問		課外活動	■課外活動の種類 無 ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アパレル業界 ■就職率 ^{※1} : 75% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 30% ■その他 卒業者に占めるファッションマスター科進学率 50% (平成 27 年度卒業者に関する平成28年5月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	ファッションビジネス能力検定3級 パターンメイキング能力検定3級 ファッションスタイリスト検定3級			
中途退学の現状	■中途退学者 7名 ■中退率 24.1% 平成27年4月1日 在学者 29名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 22名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学生の健康上の問題、及び家庭の経済的問題 ■中退防止のための取組 担任による面談やスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施。学費の分納・延納措置の対応や学資ローン企業との連携による学費納入支援。						
ホームページ	http://www.musashino-fashion.ac.jp						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育方針に共感し、人材教育の重要性を認識している企業との連携によってファッション業界に向けた職業の実践教育によって有益な人材を生み出す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年3月31日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会 議長
荒井 沙羅	araisara デザイナー
中野 貴史	株式会社フェイスインターナショナル デザイナー
片桐 芳子	本校 校長
小倉 展伸	本校 教務部 副部長
松山 由未	本校 教務部 教務課 副主事
奈良 将之	本校 教務部 教務課
茂垣 晴菜	本校 教務部 スチューデントサポート課
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課
窪寺 瞳	本校 教務部 教務課
高橋 あやめ	本校 教務部 教務課

(開催日時)

第1回 平成27年7月9日 10:00~11:30

第2回 平成27年11月21日 16:30~18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

現職の業界人を講師として起用し、企業の業務手法を在学中に身につけ且つ人格的にも社会で通用するレベルになる様、礼節も身につけることとする。

科目名	科目概要	連携企業等
クリエイションワーク1	アパレル製品の商品企画からデザインまでの企業手法を習得する。	株式会社B
アパレル技術5	テーラードジャケットのパターン製作と縫製技術の工業的手法を習得する	室谷企画

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

職業実務教育の観点から最新の業界情報まで精通した教員能力維持の為、『ファッション業界の実務研修』、『指導方法向上の研修』、『就職指導研修』を計画的に行い職業教育の向上に努めている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年3月31日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会 議長
佐久間 守平	レジュイール ディレクター
山中 哲也	東京学館浦安高等学校 教頭
竹内 忠男	スタジオアヴニール 代表
金久保 薫子	株式会社B 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:http://www.musashino-fashion.ac.jp/educational_info.html

授業科目等の概要

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			クリエイションワーク1	クリエイションワーク1ではテーマからのイメージ表現、そのイメージを表現するファッションデザインを生み出すことを学びます。	1前	30	1	△		○	○		○	○	
○			クリエイションワーク2	形の無い物からの発想、歴史やトレンドをリサーチしてその結果としてのファッションデザイン。それぞれの課題のポイントをつかみ、内容にあったデザインを時間内に丁寧に表現することを学びます。	1前	30	1	△		○	○		○		
○			クリエイションワーク3	ライフスタイルを考えたファッションデザインを学びます。TPOやシチュエーションを考慮し、現実的に好まれるファッションデザインに挑戦します。	1後	30	1	△		○	○		○		
○			パターンメイキング1	スカート原型の作図法と、デザインスカートの展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング2	トルソー原型の考え方と展開方法、衿・袖の考え方と展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング3	パンツ原型の考え方と展開方法、ワンピースの展開方法を学びます。	1前	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング4	トルソー原型からジャケット原型へのゆとりの考え方。テーラードジャケットのディテールと工業用パターン作成方法を学びます。	1後	30	1			○	○			○	
○			パターンメイキング5	パターンメイキングに関する基礎知識・技術を習得すると共に、パターンメイキング技術検定3級筆記試験の受験準備を兼ねます	1後	30	1			○	○		○		
○			アパレル技術1	生地の地直しの方法から、ミシン、ロックミシン、アイロンを用いての縫製の仕様を学ぶ。	1前	30	1			○	○		○		
○			アパレル技術2	基本的なスカートのシルエットに対しての生地選び方。基本的なスカートの構造の理解。基本アイテム（スカート）の縫製を学びます。	1前	30	1			○	○		○		
○			アパレル技術3	シャツブラウス・パンツの構造理解。基本アイテム（シャツブラウス・パンツ）の縫製を学び、効率良い縫製手順を身につけます。	1前	60	2			○	○		○		

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アパレル技術4	ワンピースでは薄く滑る素材の扱いの習得。オリジナルシャツブラウスでは個々のデザインに合わせてスケジュール立て製作します。	1後	60	2			○	○		○		
○			アパレル技術5	基本アイテムテーラードジャケットの縫製技術を習得し、裏地、芯、副資材について学びます。	1後	90	3			○	○			○	○
○			立体裁断1	地の目に対する理解と、ピン打ちなど、基本的な立体裁断技術の習得。立体裁断による原型作成。スカートの立体表現。	1前	30	1			○	○				○
○			立体裁断2	『ブラウス』のドレーピングの基本技術の習得。基本的な身頃のゆとりの入れ方の理解。デザインブラウスの練習。	1後	30	1			○	○				○
○			CAD1	CADはどのようなツールであるかの理解、基本操作をマスターする。	1後	30	1			○	○				○
○			デザイン画1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めます。	1前	30	1	△		○	○				○
○			デザイン画2	デザイン画1で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1後	30	1	△		○	○				○
○			色彩論	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1前	30	1	○			○				○
○			ファッションマテリアル1	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを製作します。	1前	30	1	○			○				○
○			ファッションビジネス1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1前	30	1	○			○			○	
○			ビジネスマナー	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事です。ビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図ります。	1前	30	1	○		△	○				○
○			コンピューターグラフィックス1	Macintoshの基本操作をはじめ、Adobe Illustrator や Adobe Photoshop の基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。	1前	30	1			○	○			○	

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			マーケットリサーチ1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識と情報を蓄積します。	1 通 年	30	1			○		○	○		
○			コレクションセミナー1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演も行います。	1 通 年	30	1	○			○			○	
	○		コンピューターグラフィックス2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1 後	30	1			○	○		○		
	○		リクルートガイダンス1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッション業界の就職の仕方を学びます。	1 後	30	1	○			○		○		
	○		デザイン画3	デザイン画2で習得した技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1 後	30	1			○	○			○	
	○		イベントプロデュース1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1 通 年	60	2			○	○		○		
		○	incubate collection A/W	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1 前	30	1			○	○		○		
		○	incubate collection S/S	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1 後	30	1			○	○		○		
		○	技術検定対策講座	洋裁に関する知識・技術を、洋裁技術検定初級の試験対策を兼ね習得します。	1 後	30	1	○			○		○		
		○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1 通 年	30	1			○	○		○		
○			デザインクリエーション1	期間限定ショップ用 商品デザインです。販売時期やトレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。(企画案1)	2 前	30	1	△		○	○		○		
○			デザインクリエーション2	期間限定ショップ用 商品デザインです。販売時期やトレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。(企画案2)	2 前	30	1	△		○	○		○		

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザインクリエーション3	ファッションショー用デザインです。トレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出す事を学びます。	2前	30	1	△		○	○		○		
○			デザインクリエーション4	学園祭で行う卒業コレクションで発表するデザインです。2年間の集大成として、トレンドを意識しながら個性的なデザインを生み出します。	2後	30	1	△		○	○		○		
○			クリエイションパターン1	デザインクリエーション1・2で制作した期間限定ショップに向けての商品用パターン制作です。商品として必要な機能性を考慮したパターンを制作します。	2前	30	1			○	○			○	
○			クリエイションパターン2	デザインクリエーション3でデザインしたファッションショー用作品のパターン制作の授業です。(ファーストパターン)	2前	30	1			○	○			○	
○			クリエイションパターン3	デザインクリエーション3でデザインしたファッションショー用作品のパターン制作の授業です。(トワルチェック・修正)	2前	30	1			○	○			○	
○			クリエイションパターン4	デザインクリエーション4でデザインした卒業制作課題のパターン制作の授業です。	2後	30	1			○	○			○	
○			モデリング1	期間限定ショップ用商品制作課題です。クリエイションパターン1で制作されたパターンを使っでの作品制作です。	2前	60	2			○	○			○	
○			モデリング2	期間限定ショップ用商品制作課題です。クリエイションパターン2で制作されたパターンを使っでの作品制作です。	2前	60	2			○	○			○	
○			モデリング3	ファッションショー作品制作課題です。クリエイションパターン3で制作されたパターンを使っでの作品制作です。	2後	60	2			○	○			○	
○			モデリング4	学園祭で発表される卒業作品制作課題です。クリエイションパターン4で制作されたパターンを使っでの作品制作です。	2後	60	2			○	○			○	
○			立体裁断3	袖や襟のディテール表現や柔らかいドレス表現のドレーピング技術を学びます。	2前	30	1			○	○			○	
○			CAD2	CADの基本操作理解。最終的にはオリジナルデザインをCADでパターン制作出来る技能を身に付ける。	2前	30	1			○	○			○	

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			パターン テクニック 1	シャツブラウス・スカートデザイン画からシルエット、構造線、ディテールを的確に読み取り、パターンとして表現できるように実習を通して訓練します	2前	30	1			○	○		○			
○			ファッション マテリアル 2	1年次に習得したテキスタイル知識の確認をしながら、PPTの画像を見せ、より深い素材知識を学び。それを基本として具体的市場展開するアパレルのあり方を確認し、様々な知識を獲得する幅広い授業内容になります。	2前	30	1	○			○				○	
○			マーケット リサーチ 2	「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する」科目です。学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積します。	2通年	30	1			○		○	○			
○			コレクション セミナー 2	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演も行います。	2通年	30	1	○			○				○	
	○		パターン テクニック 2	デザイン画からパターンメイキング、トワルの組み立て、修正、ファーストパターンの完成を繰り返す実習を通して、パターンメーカーとしての基礎能力を身につけます	2前	30	1			○	○			○		
	○		パターン テクニック 3	基本の続き袖の構築的な考え方を実習を通して学び、オリジナルデザインのジャケットまたはコートパターン化します	2後	30	1			○	○			○		
	○		CAD 3	CADの基本操作理解。最終的にはオリジナルデザインをCADでパターン製作出来る技能を身に付けます。	2後	30	1			○	○				○	
	○		立体裁断 4	テーラードジャケットとコートのドレーピング技術を身につける。	2後	30	1			○	○				○	
	○		帽子製作	自分のイメージした作品のデザインを、いかに厳密に正確により早く美しく仕上げるかを、製作を通して学びます。	2前	30	1			○	○				○	
	○		アート フラワー	染色から仕上げまでの基礎技術を習得します。洋服に合わせやすい一輪のコサージュをメインに製作します。	2前	30	1			○	○			○		
	○		ファッション イラストレーション 1	イメージ表現としてのデザイン画の描き方を学びます。素材感の表現やデフォルメの手法を習得します。	2前	30	1			○	○				○	
	○		ファッション イラストレーション 2	学園祭での展示作品を仕上げる課題を中心に実施します。	2後	30	1			○	○				○	

(服飾専門課程アパレルプロフェッショナル科) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		リクルートガイダンス2	1年時に身につけた知識を基に進路を探求します。各自の進路に合わせ、面接指導や個別相談で就職試験の準備をします。	2前	30	1	○			○	○			
	○		イベントプロデュース2	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	2通年	60	2				○	○	○		
		○	incubate collection A/W	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2前	30	1				○	○	○		
		○	incubate collection S/S	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2後	30	1				○	○	○		
		○	技術検定対策講座	洋裁に関する知識・技術を、洋裁技術検定中級の試験対策を兼ね習得する。	2後	30	1	○			○		○		
		○	インターンシップ	現在学習している事が実際社会でどのように活用・展開しているかを知る事により、社会に出る為に今後何を学ぶべきかを認識し、勉学への意欲の向上を図ると共に、将来の職業適性や設計を考える機会とし、社会人としての自覚・職業観の育成を目的としています。	2通年	60	2				○		○	○	
		○	コンピューターグラフィックス3	Macintoshの各種ソフトを使用して、Tシャツデザインコンテストに完成度の高い作品を3作品以上エントリーする。	2前	30	1				○	○	○		
		○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	2通年	30	1				○	○	○		
		○	販売士2級検定対策	単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。	2前	30	1	○			○			○	
合計						68科目		2370	単位時間(79単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
出席回数、受講姿勢、課題提出や試験による総合評価	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。